

# 平成23年度東広島市立寺西小学校 学校経営方針

住所 〒739-0041 東広島市西条町寺家6664番地1  
 電話 (082)423-2632  
 e-mail teranishi-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

学校長 東田宏昭  
 F A X (082)424-5133

URL http://www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/teranishi-sho/

学級数	33学級	児童数	1074人	教職員数	54人
-----	------	-----	-------	------	-----

## 学校教育目標 『豊かに生きる』 ～しっかり考え・じっくり学び・豊かに表現する～

### 教育経営理念

**基本姿勢** 「知育・徳育・体育の調和による生きる力の育成」  
**理念** 「中学校への進学に責任を持つ」  
 「地域と連携した教育活動の推進」

#### 児童に、より確かな学力を 教職員はプロとしての教師力を

- ① 基礎的な学力の習得とそれを活用する力の育成。
- ② 「活用力育成(思考・判断・表現)」のための研修を推進する。
- ③ 言語活動の充実と学習意欲の向上を図る。
- ④ 教育者として教育への情熱・愛情・専門性。  
～教育公務員としての自覚・使命・責任の追及～  
「かかわる こだわる やりきる」

#### 市教委のスローガン 広島県のリーディングエリアから日本のフロントランナーへ ～日本一の教育都市東広島市を目指して～

- ① 東広島力「学校力・教師力・家庭力・地域力の結集」の伝統の強みを生かす
- ② 新・学校教育レベルアッププランの推進
- ③ 学校教育と生涯学習の両輪

#### 児童の豊かな心を育む教育環境の充実を図る。

- ① 自己肯定感、規範意識を高める道徳教育の推進。
- ② 生徒指導を充実させる。(かかわりきる生徒指導力)
- ③ 創作表現「大地の響」を核にふるさと学習や和文化教育を推進する。
- ④ 関わりや、体験活動を生かした道徳教育を充実させる。
- ⑤ 「寺西5つの宝」を本物の宝にする。⇔「東広島スタンダード」

#### 体力の向上し健康的な生活をする。

- ① 健康の向上のための取組みを充実する。
- ② 基本的な運動能力を向上させる。
- ③ 早寝早起き朝ごはんの推進を図る。

#### 信頼される学校づくり(開かれた学校づくり)を推進する

- ① 「学校からの発信」と「学校への発信」の充実を図り、教育活動に生かす。
- ② 寺西校区防犯パトロール隊とリンクし、児童の危険防止と安全確保及び挨拶運動推進に努める。
- ③ 「夢と志を育む」教育活動やキャリア教育に、地域の教育力を生かす。
- ④ 保・幼・中との密な連携を図る。

気持ちのよい  
あいさつをしよう

人の話を聞こう

時間を守ろう

黙って  
すみずみまで  
掃除をしよう

はきものを  
そろえよう

## 寺西の「5つの宝」

学校評価表

	中期経営目標	短期経営目標(1年間) <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">重点</span>	取組(方策) こんなことをして達成します	評価項目 効果成果を見取る目安	自己評価
					目標値
確かな学力の向上	確かな学力の定着と向上を図る。	① 学んだことを活かすことのできる授業づくりの研究を進め、授業改善を図り、授業力を高める。	学習目標・単元計画等を明確にした授業づくりを行う。	授業が分かりやすいと答える児童の割合で見取る(児童の意識調査)	90%
			基礎的・基本的な知識や技能をいかす活用型の授業づくりを行う。 (パフォーマンス課題ルーブリックでの評価を通して)	職員の授業評価で見取る(授業評価シート)	2.5
			基礎的・基本的な学力の習得に向けた、朝学習を行う。	プレテストとパフォーマンス課題の結果の比較から見取る(向上率)	80%
			朝学習の時間を通して基礎的・基本的な学力を身に付ける。	年度末に実施する達成度テストの正答率から見取るCRT(平均正答率)	85%
			家庭での学習習慣を身に付ける。	計算問題の正答率で見取る 漢字問題の正答率で見取る	87%
			基礎的・基本的、発展的な内容の家庭学習を行い、日々の点検活動を行う。	意識調査で見取る	90%
				課題提出率で見取る	90%
豊かな心の育成	規範意識や自他を尊重する心情・態度を育成する。	② 人間関係づくりを通して自己肯定感・自尊感情を高め、仲間や学校を大切に育てる。 (寺西『四つの宝』の指導を通して)	朝会時の児童発表や生徒指導部からの啓発の話をする。	自己肯定感が高まったと感じた児童の割合	80%
			学年集会での振り返り、認め合いをする。 毎日のふり返りをする。	児童の自己肯定感が高まったと判断した職員の割合	80%
			学年の児童実態から重点項目を決め、その項目の「道徳」授業を年間3回以上おこなう。	重点項目のねらいに対して主体的に取り組もうとする記述が見られる。	80%
健やかな体の育成	生活習慣を見直し、生活の基盤となる健康な体づくりを進める。	③ 自分の健康管理に関心を持ち、実行できる児童を育てる。	学級指導や保健指導、保健授業での「早寝・早起き・朝ご飯」の指導を通して、睡眠時間の確保を中心に生活リズムの定着を図る。	1・2・3年生は午後9:30までに 4・5・6年生は午後10:00までに就寝する人数の割合	75%
			うがい・手洗いを励行するとともに、風邪欠席との相関を調べ今後の指導に生かす。	休憩後や給食前にうがい・手洗いをした人数の割合	90%
			歯磨きを励行する。	給食後に歯磨きをした人数の割合	90%
			学校だよりや保健だより・学年だよりを通じた保護者啓発と、懇談会などで情報提供し連携を図る。	自分の子どもが、自分の健康管理に関心を持ち、実行できていると思う人数の割合	80%
			朝マラソンの習慣化を図る。 休憩時間を確保し、外遊びを奨励する。	思い切り活動できたと答える児童の割合	90%
			遊びの器具・用具を工夫したり開発したりする。 (ジャンプ台やボール投げ用具、場の確保など)	体力テストで、国の平均を上回る種目数	70%
信頼される学校づくり	信頼される学校・開かれた学校づくりを進め、保護者や地域社会との連携を深める。 学校評価の活用を図る。		学年だより、学校だよりの発行 学校ホームページの更新	「学校は情報公開に努めている」とする保護者の割合	90%
			個人懇談会や学校へ行く週間に保護者アンケートを実施し、結果を指導改善に生かすとともに、改善策等の公表に努める。	「わかりやすい授業作りに努めている」とする保護者の割合	90%